

海外研修報告書

日程：平成 27 年度 11 月 14 日～19 日までの 6 日間

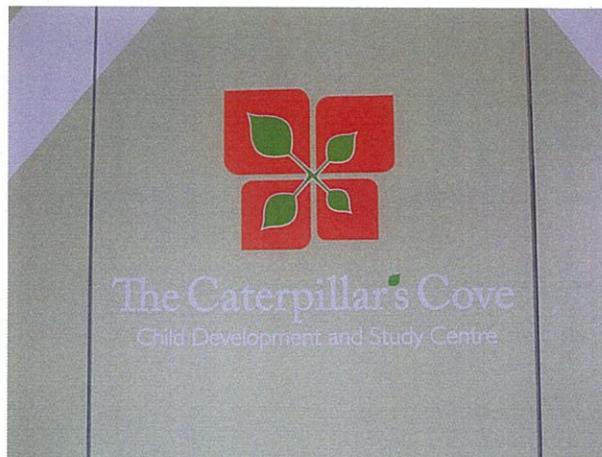
場所：シンガポール

参加者：

以上 14 名

訪問した園：

- ①The Catarpillar's Cove(キャタピラー・コーブ)
- ②Two by Two Preschool cum enrichment center
(ツー・バイ・ツー プレスクール エンリッチメントセンター)
- ③Japanese Kindergarten Singapore (日本人幼稚園)
- ④TOUCH Child Care (タッチ保育園)
- ⑤ELF preschool (エルフプレスクール)



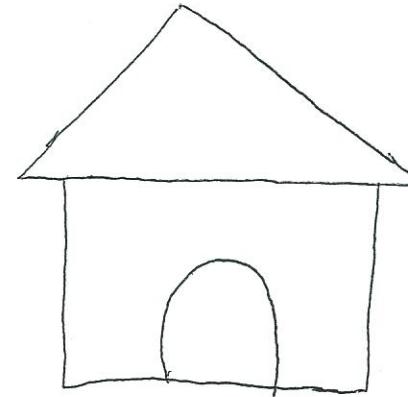
企業が行なう事業

テラス

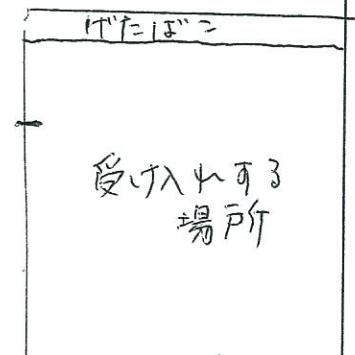
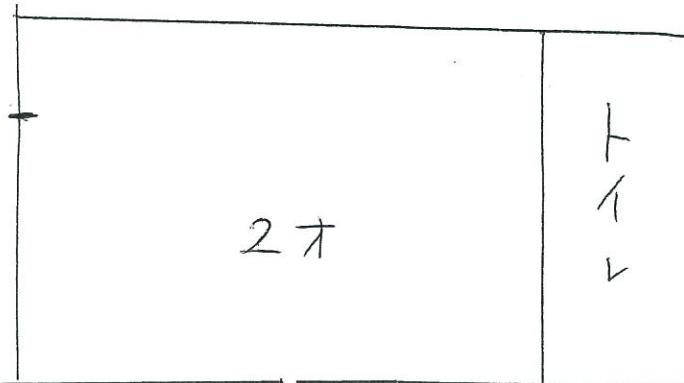
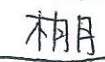
(遊具、
砂場あり)

給食室

ランチルーム



階段下の
「178」



②Two by Two Preschool cum enrichment center
(ツー・バイ・ツー プレスクール エンリッチメントセンター)

中国人の家庭でも英語を話すことが増え、中国語を話せるように通わせている。または、中国語を話せるようにしたい他国の親が入園させている。無認可で補助金はない為、高所得者の家庭が預けている。また、通常保育は午前中だけで、午後は各種教室に代わる。保育園でも幼稚園でもなく『習い事』といった方がわかりやすい。

対象：1.8か月～6歳

言語：中国語を中心。しかし英語も取り入れている。

保育時間：午前中 8時半～12時半

午後 13時～

一か月の保育料：日数、各種教室によって値段が変わってくる。

(別紙参照)

入園できる対象：特に限定はない。

保育：

- ・言葉は聞く→話す→読む→書くの順番に遊びを通して伝えていく。
- ・各クラスリーダーとサブの2人態勢。
- ・幼稚園や保育園ではないが、小学校にあがるまでにやっておくべきことはできるようにしている。
- ・乳児は音楽を聴きながらブロックで遊んでいる。幼児はテキストを自分で読み上げていたり、絵合わせなどをしている。(全て中国語)
- ・6歳児は卒園の時に言う言葉(送る言葉)を練習しているようだが、小学生で言うぐらい長く、全て全員で言うのではなく所々個人で言う場所がある。
- ・掲示物は中国語と英語両方でされている。

設備：

- ・1階は乳児、2階は幼児の部屋となっているが、スペース的には狭い。
- ・各部屋は壁によって分かれている。
- ・

保育 :

- ・3歳児、4歳児は散歩に出た為不在。
- ・5歳は中国語と英語の2グループに分かれ、それぞれ教材を使い勉強。
- ・2歳はトイレに行った後ランチルームに移動しお茶を飲みながら待機。
- ・0, 1歳の部屋は見学できなかった。
- ・2歳まで哺乳瓶でミルクを飲む子が多く、各家庭から毎日哺乳瓶に粉を入れて持ってきてもらう。(3歳までにはカップに移行できるようにしている)
- ・もうすぐ部屋の移動があり、子どもたちが自分で荷物を運んだり新しいクラスに持つていきたい玩具を選ぶ。

※子どもが居ない為、子どもの動線や保育士の関わり方は観察することは難しかった。

設備 :

- ・子どもたちが座るソファーは階段状になっていて、絵本等が見やすいよう工夫されている
- ・テラスがあり、天井がない為雨も入ってくる。シンガポールの子どもたちは室内に居ることが多いため、自然の風や雨などにたくさん触れられるようにしている。(この園の立地的に外に出て遊ぶことは難しい)
- ・幼児クラスは、棚でそれぞれの区切られているが壁はない。
- ・2歳児クラスは部屋になっている。
- ・おままごとの玩具で、パンケーキの作り方が写真で掲示してあり、その近くには実物の油が入っているペットボトルや小麦粉の袋(中身なしで代わりのものを入れている)が置いてある。
- ・中国語と英語の両方で、すべての名称を書いて貼ってある。

感想 :

効率の良い教育をするための研究が根底にあるため、いたるところに『勉強』といった雰囲気を感じた。また、子どもが居なかつたため通常の様子をみることは出来なかつたが、ワンフロアで身体を大きく動かせるスペースが少なく、座って遊ぶことが多いことが予想される。大きい棚などが多い為簡単に動かして環境を変えることも難しそう。

センター職員が保育士と密に話し合い、意見を取り入れて保育方針を見直していくことはとても良いことだと感じた。

2F

5才

3才

相間

4才

1F

2才

18ヶ月～

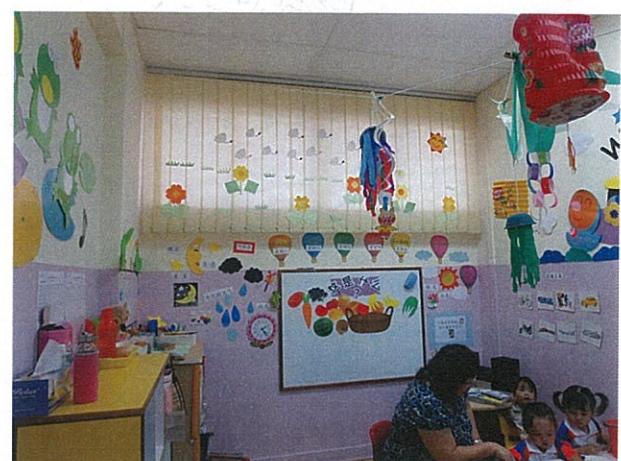
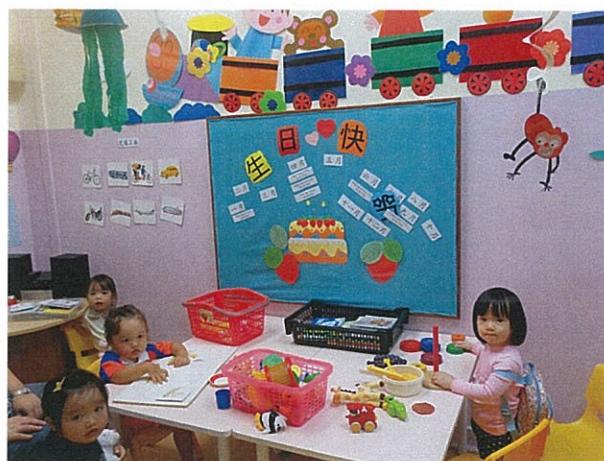
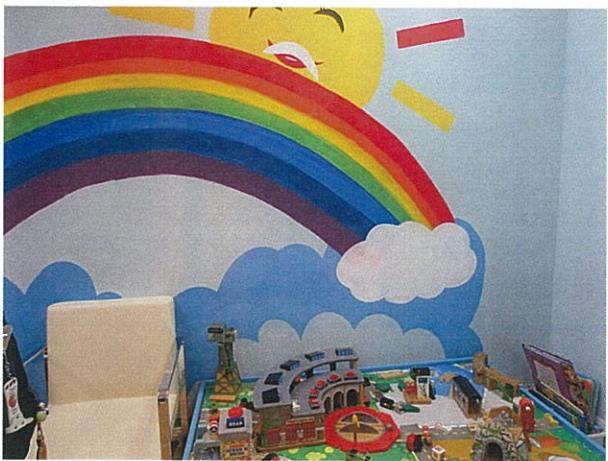
2F

18ヶ月～

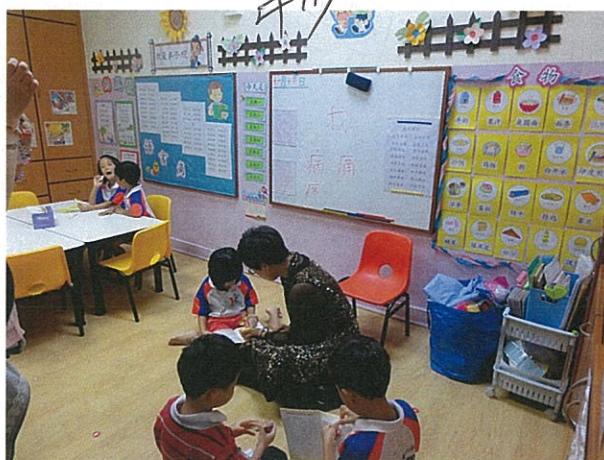
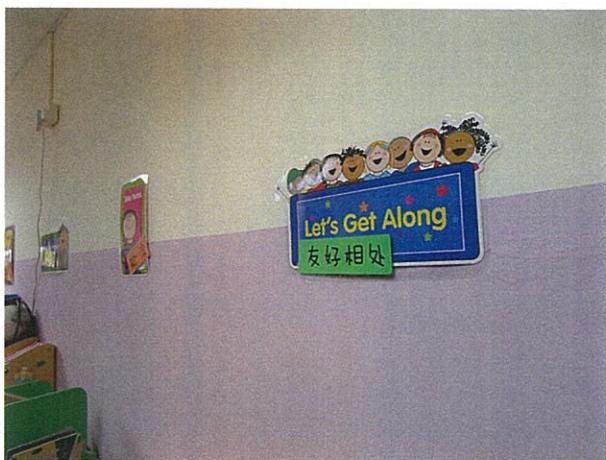
受付

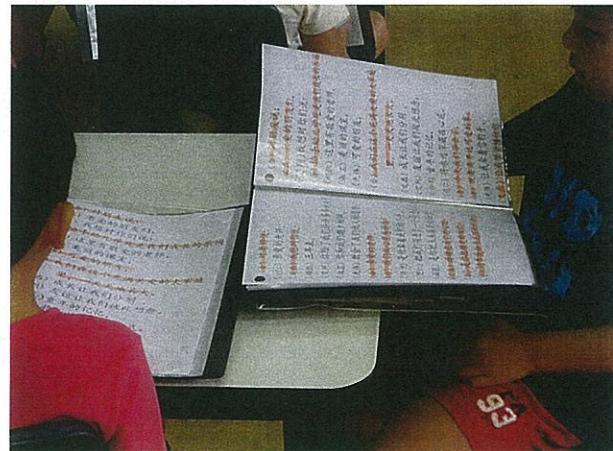
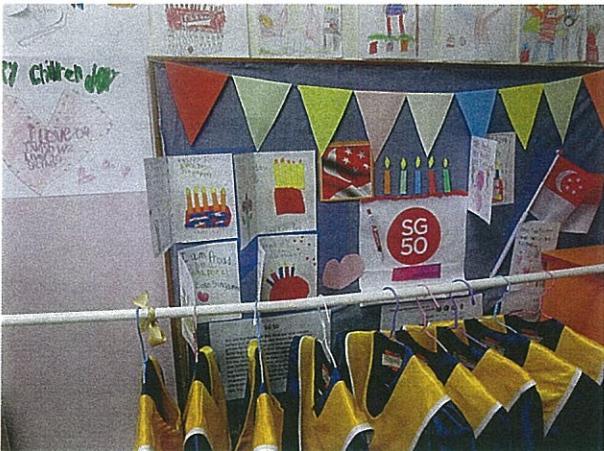
入口

乳兒









③ Japanese Kindergarten Singapore (日本人幼稚園)

シンガポールにあるとは思えないほど日本の幼稚園そのままで、会社の出張で滞在している(いつか帰国する予定)の子どもが入園している為、帰国してから戸惑わないようにしている。シンガポールの小学校は1月～12月の入学が多いが、ここは日本の小学校に合わせて3月卒園としている。

対象：2歳～6歳

言語：日本語

保育時間：9時～15時

一か月の保育料：私立で補助金なし

幼児 約8万

2歳 約8万5千円 ※2人目から約-2千700円

全体の7割が企業負担している為保護者は払っていない。

入園できる対象：保育、掲示物、連絡など全て日本語になる為、保護者と日本語でのコミュニケーションができなくてはいけない。

現在2割がハーフ。

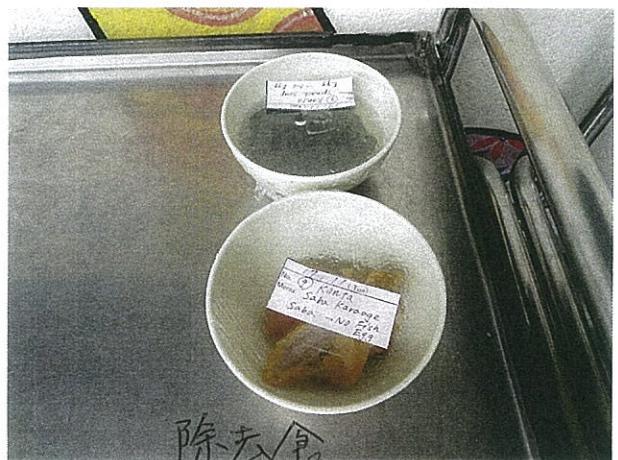
保育：

- ・ 17名の日本人保育士が寮で生活しながら働いている。リーダーは日本人保育士。サブに現地の職員(資格なし)を配置している。
- ・ 全て日本語で会話し、表記も全て日本語。
- ・ 他の園は、個人名だけの表記だったが個人マークが貼られている。
- ・ 日本の四季を感じられるように、掲示物に工夫がみられる。また、掲示物は保護者が集まって作っているものも多い。
- ・ 給食は和食中心。アレルギー食にも対応している。
- ・ サツマイモなども育てている。

設備：

- ・ 私立ではあるものの、日本人会からお願いされシンガポールのMEOから唯一許可された日本人幼稚園のため広い土地を安く借りることが出来ている。
- ・ 広いスペースに保育に充分な設備がそろっている。





折り紙の壁面装飾



幼稚園児の保護者作



作り物の木



保育室の中。

かたにすり

